



平成 24 年 2 月 24 日

各 位

会社名 **株式会社 MORESCO**
代表者名 代表取締役社長 赤田 民生
(コード番号 5018 東証第一部)
問合せ先 広報室長 田中 真人
TEL 078 - 303 - 9058

MORESCO 新中期経営計画(2012～2014 年度)について

この度、2012 年度から 2014 年度までの 3 年間を対象とした MORESCO グループの新たな中期経営計画を策定しましたので、その概要についてお知らせします。

1. 中期経営ビジョン

「小さくとも世界にきらりと光を放つ MORESCO グループ」
ー水と油と高分子のスペシャリストとして社会の発展に貢献するー

2. 中期経営方針

1) 世界に通用するオンリーワン製品を開発する

世界のトップシェアを獲得したハードディスク表面潤滑剤や高温用合成潤滑油に続くオリジナリティーの高いオンリーワン製品を「環境」「情報」「エネルギーデバイス」分野を中心に開発し社会の発展に貢献していきます。

2) グローバルな視点で成長市場に事業展開する

既に拠点有する中国、東南アジア、北米や、今後の経済発展が期待されるインド、ブラジルなどの成長エリアにおいて、海外ネットワークを充実し、得意領域での強みを活かした事業展開を推進します。

3) 生産プロセスの革新により、品質とコスト競争力を強化する

成長市場では競争も激化し、円高の進行も加わり、コスト競争力の問題は喫緊の課題です。このため、継続的な生産プロセスの革新により、品質の維持向上とともにコスト競争力を強化し、より強固な事業基盤を構築します。また中国、東南アジアなど海外での生産体制の強化を図ります。

4) グループ内外企業と連携し、ビジネスチャンスを広げる

国内外の環境関連、情報関連、エネルギーなどの成長分野において積極的にビジネスパートナーを発掘し、事業展開のビジネスチャンスを広げます。

5) 多様な人材が織り成す活力ある組織を目指す

新規事業、グローバル事業の展開を担う人材の確保と機動的な組織運営が必要となります。グループ社員が生き活きと活動し、その能力を存分に発揮できる環境を整備して、活力ある組織の構築を目指します。

6) コンプライアンス・リスク管理を充実し、ステークホルダーの信頼を高める

コンプライアンスや様々な危機管理などに関する企業の社会的責任はグローバル社会の中でますます大きくなっています。大規模災害によるサプライチェーンの寸断やパンデミックなどの各種リスクへの対応のレベルアップを図るとともに、コンプライアンスの一層の充実に努めます。

3. 新中期経営計画策定についての考え方

世界経済は中国、東南アジア等の新興国を中心に成長が持続し、自動車、二輪、電子機器、日用品、その他で需要が拡大するものと思われます。国内では自動車生産の伸び悩みに加えて、ハイブリッド車や電気自動車などのエコカーへの移行が進み、ダイカスト製品の需要などは減少していくものと思われます。一方で情報関連製品や航空機関連製品など、今後の成長が期待できる分野も多く、高齢化の進展にともない医療・介護関連分野の需要も拡大が見込まれます。このような環境の中で当社においても、国内外の成長エリア、成長分野における様々なニーズを先取りし新製品開発を行うことにより、社会の発展に貢献する製品を提供していきます。

4. 売上高、利益計画（連結）

（単位：百万円）

| | 2011年度見込 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 |
|-------|----------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 18,690 | 21,740 | 23,860 | 25,800 |
| 営業利益 | 1,210 | 1,400 | 1,800 | 2,400 |
| 経常利益 | 1,300 | 1,500 | 1,900 | 2,500 |
| 当期純利益 | 720 | 850 | 1,100 | 1,400 |
| 経常利益率 | 7.0% | 6.9% | 8.0% | 9.7% |

注) 2011年度見込は当中期経営計画発表日現在の業績予想値です。

5. 中期経営計画

5.1 中期経営計画の重点事業戦略（各部門概要）

①特殊潤滑油部門

主たる需要分野である自動車産業においては、中国や東南アジアを中心とした新興国での生産台数の増加が見込まれます。国内トップシェアの難燃性作動液、ダイカスト用油剤をはじめ、水溶性切削油剤等において、現地での開発体制の充実および国内とのネットワークの強化により現地ニーズに対応した製品開発をスピードアップし、オリジナリティーの高い世界No.1メーカーを目指します。

一方、国内では、消費電力を低減できる難燃性作動液や少量塗布で優れた性能を発揮するダイカスト用油剤などの環境負荷の軽減に貢献できる潤滑剤の開発や、難切削材などの新たな部材の加工を可能にする切削油剤の開発等によりシェア拡大に取り組みます。また、冷熱媒体（ブライン）部門では、省電力に貢献する新製品開発に注力します。

②合成潤滑油部門

これまで開発部門主導で取り組んできたハードディスク表面潤滑剤、高温用合成潤滑油について、これらを統合し合成潤滑油事業部とするとともに、営業部門を新たに設置して顧客開拓に注力する体制を構築し、オリジナリティーの高いオンリーワン製品を世界に供給します。

高温用合成潤滑油は、自動車電装部品向けの高温度軸受用グリースの基材として使用されており、高いシェアを有するオンリーワン製品として継続的な需要の拡大が期待されます。さらに、情報機器用などの用途に向けて当社独自の新合成油の開発をスピードアップしま

す。また食品、建材生産用途では米国をはじめとした海外展開を図ります。

ハードディスク表面潤滑剤は、ハードディスクドライブの大容量化技術の開発進展にともない、薄膜化や耐久性の要求に対応できる新潤滑剤を市場投入し売上拡大に努めます。また次世代メディア用潤滑剤の先行開発を積極的に進め、継続的な新機種での認定を目指します。

③素材部門

主力製品である流動パラフィン、中国などの新興国でリチウムイオン電池生産向けや化粧品向けの需要が拡大しており、これらに対して重点的な取り組みを進めます。また国内では、既存用途以外の新用途開発を加速し市場の拡大に努めます。

製造面では、合理化・省力化投資により、コスト競争力の向上と品質の安定を図り、安定供給体制を確立します。

④ホットメルト接着剤部門

主要用途である紙おむつ向けは、国内では大人用紙おむつの需要が堅調であり、海外では新興国の人口増加により東南アジアで子供用の大きな需要が見込まれています。これに対応しインドネシア現地法人での生産を開始し、サプライチェーンを強化することにより、同国をはじめとして、ベトナム、タイなど東南アジアの需要への対応を目指します。

また、ホットメルト接着剤は溶剤を含まず環境負荷軽減に貢献できる接着剤として需要が拡大しています。近年の環境問題であるVOC（揮発性有機化合物）への対策として、需要増加が見込まれる自動車内装用を主とする反応型ホットメルト接着剤の拡販を推進します。さらにラベル等の粘着材分野においても、高機能製品の開発により売上拡大を目指します。

5.2 部門別売上高の計画（連結）

（単位：百万円）

| | 2011年度見込 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 |
|-------------|----------|--------|--------|--------|
| 化学品事業 | 18,630 | 21,680 | 23,800 | 25,740 |
| 特殊潤滑油部門 | 8,060 | 9,940 | 10,760 | 11,530 |
| 合成潤滑油部門 | 1,390 | 1,700 | 1,880 | 2,040 |
| 素材部門 | 3,500 | 3,620 | 3,750 | 4,030 |
| ホットメルト接着剤部門 | 4,510 | 5,230 | 6,070 | 6,610 |
| その他 | 1,170 | 1,190 | 1,340 | 1,530 |
| 賃貸ビル事業 | 60 | 60 | 60 | 60 |
| 合計 | 18,690 | 21,740 | 23,860 | 25,800 |

注）2011年度見込は当中期経営計画発表日現在の売上高予想値です。

6. 海外戦略および新製品開発

①海外戦略

当社グループは、自動車、二輪車分野で今後とも成長が見込まれる中国、タイ、インドネシアおよびベトナムなどの新興国に対して、現地開発部門の充実と日本との連携により現地

ニーズに対応した事業展開をスピーディーに進めます。

中国ではグループ会社とのネットワークをさらに強化するとともに販売網を整備し、日系のみならず現地企業への販売を強化します。また現地での需要拡大が見込まれる冷熱媒体、流動パラフィン等の製品分野に対しても市場獲得に向けた活動を加速します。

東南アジアでは現地ニーズの情報収集に注力し、ニーズに対応した製品開発をタイムリーに行うことで、成長市場でのシェアアップに努めます。またタイ、インドネシアの生産拠点を核としてベトナム、インドへ市場開拓を進めます。

米国ではダイカスト用油剤および高温用合成潤滑油を中心とした市場開拓を日系企業のみならず米系企業に対しても推進します。日系の自動車メーカーの進出が相次いで公表されているメキシコにおいては、既に代理店を置くなど販売体制を整えつつあり、将来の成長が期待できるブラジルに対しても、今後の事業展開に向けた取り組みを進めます。

②新製品開発

新製品開発では、「環境関連分野」、「情報関連分野」、「エネルギーデバイス分野」の3分野に重点をおき、世界に通用するオンリーワン製品の開発に取り組み、高付加価値製品の開発に注力していきます。

1) 環境関連分野

自動車関連部品の製造工程で重要な役割を担う特殊潤滑油分野では、省資源、省エネルギーに貢献する高機能製品の開発を進めます。従来品に比べ消費電力を低減できる難燃性作動液や少量塗布で優れた離型性や潤滑性を発揮するダイカスト用油剤、ロングライフで廃棄物を削減できる切削油剤、リチウムイオン電池筐体の製造工程において諸問題を解決するプレス加工用潤滑剤など、オリジナリティーの高い製品展開を図ります。

溶剤を含まず環境負荷軽減に寄与するホットメルト接着剤分野では、自動車内装用を主とする反応型ホットメルト接着剤で、耐熱性をさらに向上し、これまで使用されなかった内装用部位への展開を図ります。また衛生材料向けに環境対応型製品のラインアップを充実します。

2) 情報関連分野

ハードディスクドライブの需要は今後もクラウドサーバー用やPC、テレビ用の記録媒体として成長が持続すると予想され、より高度な次世代記録方式に対応した高機能な表面潤滑剤を提供していきます。また、ハードディスクドライブ関連分野の裾野を広げ、動圧軸受用潤滑剤や超精密加工用切削油剤など、重要な役割を担う潤滑剤を総合的に開発します。

3) エネルギーデバイス分野

ホットメルト接着剤で培った高分子材料の変性技術や配合技術、ハードディスク表面潤滑剤の基盤技術である有機合成技術などのコア技術を活かし、今後の成長が期待される有機ELや太陽電池などの長寿命化に寄与する、高バリア性封止材料の新製品開発を加速します。またさらなる封止材料の機能性アップに向けた開発に注力するとともに、有機ELデバイス分野で高いシェアを有する韓国、台湾企業への取り組みを強化し、新エネルギー関連分野への展開を加速します。

以上